

報道機関各位

初公開史料3点を公開

長岡市観光・交流部観光課



長岡市

開館20周年記念 特別展示

「いま、新たな継之助に会う！～初公開史料が語る真実～」を開催

河井継之助記念館は、「継之助の父上宛て書状」、「李忠定公の句を録した継之助の書幅」、「継之助の手記」の3点を、特別展示「いま、新たな継之助に会う！～初公開史料が語る真実～」で初公開します。

開館20周年を記念した節目の年にふさわしい特別展示で、初公開史料から新たな視点での継之助の人物像を探っていきます。

つきましては、下記のとおり概要をお知らせしますので、ぜひ取材くださるようお願いいたします。

特別展示「いま、新たな継之助に会う！～初公開史料が語る真実～」

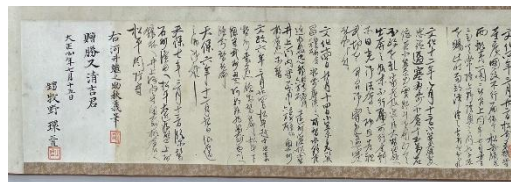
- 1 日 時 6月10日（水）～1月25日（月）  
※4月29日（祝・水）から、特別展示の一部を先行して公開済み  
午前10時～午後5時（最終入場：午後4時30分）  
（毎週火曜日休館）
- 2 会 場 河井継之助記念館（長岡市長町1丁目甲1675-1）
- 3 展示内容
  - ・継之助の父上宛て書状  
江戸への出府行程や、到着後の行動、交友関係が初めて明らかになる。
  - ・李忠定公の句を録した継之助の書幅  
継之助が遊学時に会った「李忠定公集」は、藩政改革を立案する一助にもなったと言われている。
  - ・継之助の手記  
継之助の改革を支えた政治認識にかかわる手記であり、継之助が関心を持った藩政改革の失敗による処分事例などの記録である。



▲李忠定公の句を録した継之助の書幅



▲継之助の父上宛て書状



▲継之助の手記

開館  
20  
周年記念

特別展示

いま、

新たな継之助に

出会う!

～初公開史料が語る真実～



「風雲 蒼龍窟」  
峰村哲也／画

**展示期間** 令和8年4月29日(水)～令和9年1月25日(月)

令和8年度開館20周年を迎える河井継之助記念館では、特別展示として継之助に関する初出の史料として3点を公開する。

「継之助の父上宛て書状」、「継之助の手記」、「李忠定公の句を録した継之助の書幅」である。

いずれも現在まで私たちが知っている河井継之助を補強すると同時に、新たな継之助を知る手がかりとなるような重要な情報を含む史料であることは間違いない。

継之助は何を考え、どのように行動したのか、  
来館者それぞれ、新しい視点から継之助の人間像を探っていただきたい。

## 河井継之助記念館



〒940-0053 新潟県長岡市長町1丁目甲1675-1  
TEL.0258-30-1525 FAX.0258-30-1526

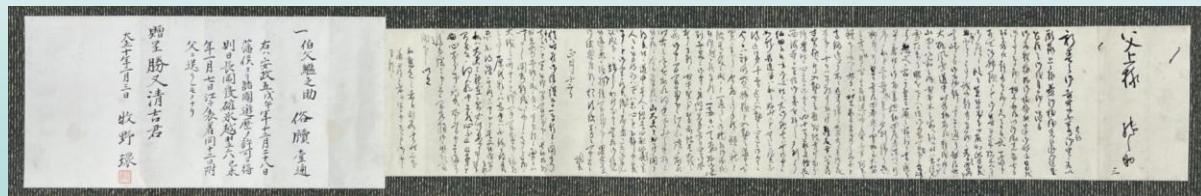
■ 休館日 毎週火曜日(祝日の場合翌平日)  
12月29日～翌年1月3日  
(臨時休館させていただくことがあります)

■ 開館時間 10:00～17:00(入館16:30まで)

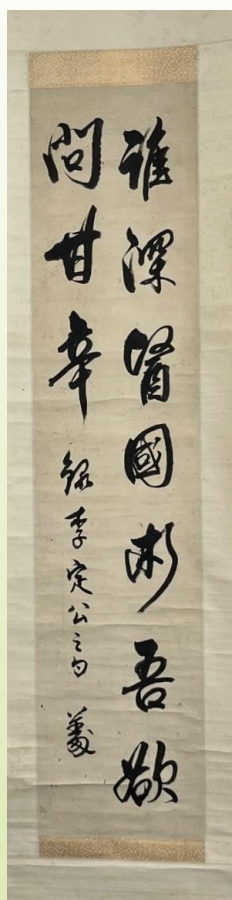
■ 観覧料 大人 200円  
高・大学生、障がい者・介助者 150円  
小・中学生 100円  
※団体料金あり(20人以上)

## 「継之助の父上宛て書状」 ※令和8年6月10日より展示

河井継之助の2度目の江戸遊学時、江戸への出府行程や、到着後の行動、交友関係が初めて明らかになる。自らの志を遂げるために各地で学び、交友を広げた継之助の具体的な行動を知ることのできる資料の一つとなった。厳冬期の江戸出府の経路、到着後の諸人との詳細な交友関係が記録され、また家族への想いなどが窺える。



## 「李忠定公の 句を録した 継之助の書幅」



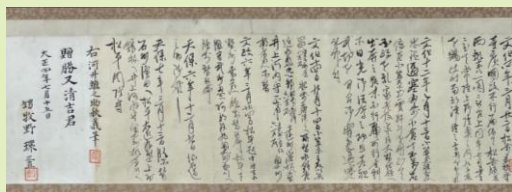
經世濟民の立志を誓った継之助が遊学時に会った『李忠定公集』は、彼の世界観を変え、藩政改革を立案する一助になったといわれている。寝る暇もなく書写した『李忠定公集』であるが、ほかに継之助が内容を記したものは見当たらなかった。公開される書幅は『李忠定公集』からの引用がはっきりと記され、継之助による改革の指標としての『李忠定公集』が明らかになった。継之助の珍しい真筆書幅である。

※令和8年4月29日より展示

※令和8年6月10日より展示

## 「継之助の手記」

継之助の改革を支えた政治認識にかかわる手記になっている。17歳で政治の道への志を立てた継之助が、各地での遊学や多くの人との交流、ほか周囲から吸収し、学びとったことを、実践的に藩の政治改革につなげていった。今回の手記は令和6年に本記念館で公開した史料と同じジャンルのもので、継之助が関心を持った藩政改革の失敗による処分事例等の記録である。



令和8年度  
河井継之助記念館  
開館20周年記念  
特別展示